

社会福祉法人 地域で一緒に暮らそう会





障がい児(者)に当たり前の暮らしを

社会福祉法人「地域で一緒に暮らそう会」は、障がいのある子どもを抱える4家族のお母さんが、「親亡き後も、地域でみんな一緒に暮らしたい」との思いから、自らが力を合わせて会を設立し、その後NPOとして事業所をスタートさせ、今日に至っております。

私自身も、生まれながらにして、沢山の障がいを背負って「この世に生を受けた孫との出逢い」、そして6歳4ヵ月でその尊い命を失うという辛い出来事など、障がい当事者の家族だからこそ、乗り越えなければならない幾多の困難を経験をしております。

自分が障がい当事者の家族になって見て初めて、障がいのある人は社会で生きづらいという現実とのギャップに大変苦しむとともに、その大変さは、社会がつくり出しているとの思いを強くしました。

だからこそ、障がい当事者にしっかり寄り添う、当たり前の暮らしを支える事業所が、今、必要なのではないのでしょうか。

私共事業所は、法人の理念として、「利用者の尊厳・・・人が人として平等に生きる権利」の利用者目線を大切に、利用者の共生、自立に向けて常に愛(心)を持って寄り添い、また家族の方々が、何を苦しみ、何を悩んでいるかにも思いを馳せ、職員一同しっかり支えてまいりたいと存じます。

まだまだ障がいのある子どもの育つ環境は厳しいです。社会福祉法人として、障がいをもちながらも、「どうしたら人生を心豊かに暮らせるか」を基本に、これまでのノウハウを大切に社会的使命と責任の重さを自覚しながら、真に障がいのある子ども達を支える共生の居場所として、期待に応えることをお約束申し上げ、ご挨拶いたします。

社会福祉法人「地域で一緒に暮らそう会」

理事長 佐々木 恵美子





- 平成9年 障がい児を持つ4家族で「地域で一緒に暮らそう会」を発足
- 平成11年 レスパイトサービスを開始する
※レスパイトサービスとは、障がいを持つ人と家族のニーズに合わせて、障がいを持つ人を一時的に預かるサービス
- 平成15年12月 特定非営利活動法人格を取得する
「特定非営利活動法人 地域で一緒に暮らそう会」設立
代表理事に大野晴美就任 会員数19名
- 平成16年4月 「きらきはうす」開設
指定居宅介護 指定児童デイサービス
レスパイトサービス事業開始
- 平成18年10月 指定短期入所 指定重度訪問介護
指定行動援護 地域生活支援事業開始
- 平成19年4月 代表理事に安藤由美子就任
- 平成22年4月 指定共同生活介護事業開始
平成21年度北海道森林整備加速化・林業再生事業の木の香るまち等施設整備交付金助成によるケアホーム かのん（花音）開設
指定相談支援事業開始
- 6月 代表理事に滑川織枝就任
- 7月 平成21年度共生型基盤事業交付金助成による共生型地域サロンHUG（はぐ）開設
- 平成24年3月 社会福祉法人「地域で一緒に暮らそう会」設立
理事長に佐々木恵美子就任
平成22年度地域介護・福祉空間等施設整備補助金によるケアホームワルツ・すまいるキッチン開設
- 平成24年6月 特定非営利活動法人解散
- 平成25年4月 放課後等デイサービス事業開始
児童発達支援事業開始
- 平成26年1月 訪問看護事業開始
ケアホーム ぽこあぼこ開設
- 平成26年2月 音更町第2発達支援センター（ていくたく）開始



居宅介護

身体介護=自宅においての食事や入浴、排泄等の身体的な介護など

通院介助=病院への付き添いなど

家事援助=調理や洗濯、掃除、買い物等の家事の援助

乗降介助=通院等のための乗車、降車の介助、受付手続きなど

重度訪問介護

重度の身体障がい者で常に介護を必要とする方に入浴、排泄、食事の介護、外出事における移動支援などを総合的に行います。

地域生活支援事業

（市町村によりサービス内容が異なる場合があります）

移動支援～余暇活動等の社会参加のための外出の移動を支援します。

日中一時支援～日中における活動の場の提供と日常的な生活訓練、及び家族の一時的な休息時間の確保

行動援護

知的障がいにより行動上に著しい困難がある方に対して常時見守りや危険を回避するために必要な援護及び外出時における移動中の介護等を行います。

短期入所（ショートステイ）

自宅で介護する方が病気等の理由で緊急避難的に行うサービスです。

短期間、入浴、排泄、食事の介助等を行います。

相談支援

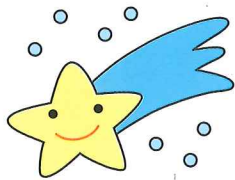
障がいのある人、その保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を行います。

同行援護

視覚障がい者等の外出時に同行し移動の援護を行います。

その他

レスパイトサービス事業



施設紹介

きらきらはうす

- 児童発達支援事業
- 放課後等デイサービス

対 象

「児童発達支援」(就学前)～医療的ケア

- 重症心身障害児(定員5名)

「放課後等デイサービス」～就学児(2単位)

- 重症心身障害児(定員5名)
- 発達に心配や不安のある児童(定員10名)



現在5名の看護師と作業療法士、言語聴覚士など、家庭で生活している時に実施されている必要な医療等をすべて実施するサービスを提供しています。

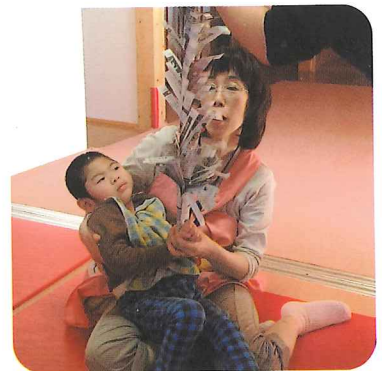
■児童発達支援事業



朝の会 保育士の弾く音楽のリズムに合わせて、看護師と一緒に手遊びをしています。



看護師が健康上の問題を管理しながら、子ども達が楽しんで参加出来るプログラムを行っています。



看護師さん・保育士さんと一緒に新聞ツリー出来たよ!

■放課後デイサービス事業



感覚あそび

スタッフがバスタオルを使って、ブランコのように揺らして感覚遊びを楽しんでいます。



創作体験

小麦粘土やスライム、フィンガーペインティングや野菜スタンプなど、色々な素材や感覚の物に触れ、創作活動をしています。



自然・文化・生活体験

海水浴や図書館、買い物などへ出かけ自然に触れたり、様々な文化・生活体験を行っています。

お手伝い

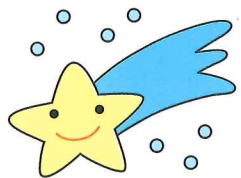
おやつ作りや清掃活動といった、お手伝い活動を楽しみながら取り組んでいます。



戸外活動

公園や戸外に出て遊具遊びや鬼ごっこをして積極的に体を動かしています。





きらきはうすは、利用者の方々の
日中活動を支援しています。

夏場は主に畑作業や、収穫した野菜の配達を行っています。他にも押し花作業やペットボトルのラベル剥がしなど、一人一人の出来ることを大切にしながら様々な活動をしています。



共生型地域サロン HUG☆はぐ（法人本部）



スマイルキッチン昼食風景



パソコン作業



畑作業



すまいる配達便



豆もぎ作業



押し花作業



施設紹介

共同生活
暮らしの場

- ケアホームかのん(花音)
- ケアホームワルツ
- ぽこあぽこ

サービス
紹介

共同生活援助(介護サービス包括型)

共同生活を行う住居で入浴・排泄・食事の介護などを行います。

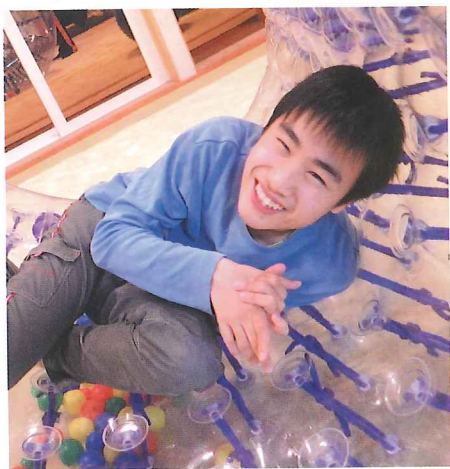
日中活動を終えた後は、温かい食事とお風呂で疲れを癒し、それぞれが自由にくつろいでいます。でも、やっぱり仲間が大好きでみんな寝る前まで居間で一緒に過ごしています。



ケアホーム **かのん**(花音)



ケアホーム **ワルツ**



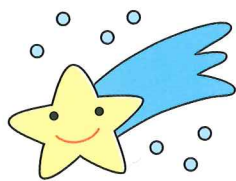
笑顔がいっぱい!



ケアホーム
ぽこあぽこ



ぽこあぽこ



地域交流事業

共生型地域サロンHUG☆はぐ、ケアホームかのん(花音)、ケアホームワルツ・すまいるキッチンは地域の元気な高齢者の方々と障害児(者)の交流の場です。

- 高齢者の方々の生きがい作り
- 高齢者・学生のボランティア活動拠点
- その他さまざまな交流事業を予定しています。

ご利用時間

HUG☆はぐ・すまいるキッチン

■ 月～金 18:30～21:00

ケアホームかのん(花音)・ワルツ

■ 月～金 11:30～15:00

※年末年始などご利用できない場合もあります。

すまいるキッチン

地域の方々にも安心・安全な食材を使用した昼食の提供を行っています。(予約制です)

事前の予約により共生型地域サロン交流スペースの開放事業を行っております。お気軽にご利用ください。



コンサートの開催



そば打ち交流



ごみひろい

私たちのねがい

私たち、「地域で一緒に暮らそう会」は平成9年、障がいのある4人の子どもの家族が生まれ育った地域、大好きなふるさとで障がいのある人も、ない人も、一緒に生き生きと楽しく暮らしたいとの想いのもとにスタートしました。

障がい福祉を取り巻く環境は未だ厳しく、未来に向けて解決をしなければならない課題も山積していますが、そんな人たちの「もう少し、助けがあったら暮らしやすいのに」「あったらいいな」を少しでも実現させる為今後とも、誰でも「あたりまえ」に「安心して暮らせる社会」「共に生きるまち」を目指して、当事者や家族の願いが叶うよう活動を続けたいと思います。



社会福祉法人 地域で一緒に暮らそう会

河東郡音更町新通4丁目1番地7

電話 0155-42-0742 FAX 0155-42-4740

<http://kirakirahouse.com>

kira01@kirakirahouse.com

kira02@kirakirahouse.com